<u> </u>				
事務事業名	室内温水プール建替推進事業	担	課 等 名	生涯学習・スポーツ課
予算事業名!	室内温水プール建替推進事業	部	係 名	スポーツ係
事 務 区 分	自治事務	署	電 話 番 号	0765-23-1046
1 事業期間	開始年度 平成29年度 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
基本 目標名 政策名	目標2.未来につなぐまち	算	款	教育費
百合 政 策 名	政策09. いつまでも健やかなまちづくり	科	項	保健体育費
計 施 策 名 □	施策21. いきいきとしたライフスタイルの実現	目		体育施設費
基本事業名	基本事業21-1. 生涯スポーツ・レクリエーションの推進	総合	計画主な事業	記載なし
根拠法令		L	戦略との関連	l
アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(業務委託)	集中に	プランとの関連	関連あり

事業概要 無津市の室内温水プールは、昭和54年3月の開設以来、約40年間気軽に親しめる施設として幅広く市民に利用されています。近年は、老朽化が進み、ボイラー等設備の故障や雨漏り等が相次いで発生し、快適に利用できる状態を保つのが困難な状況であり、その改修には多額の財政負担を伴います。平成26年7月に策定された「魚津市公共施設再編方針」では、温水プールは建替えることとしており、その設置場所と施設内容について検討を実施。R01年度は内閣府の交付金を活用し、PFI導入可能性調査を実施し、R02年度は整備手法等の検討、及び整備方針や整備スケジュールを決定する。

対象 市民、管理施設(総合体育館室内温水プール)

「大くさんの市民や事業者の意見を取り入れながら、費用的に効率的・効果的な新しい室内温水プールを造る。

意図 (成果指標) 新しい室内温水プールが完成し、多くの市民が利用している。

	活動指標名・成果指標名		指標名・成果指標名 単位 H31年度 R2年度 R3年度 R3年度			R4年度		
3		中心	実績	実績	計画	実績	達成率	計画
指	活①							
	動 ②							
	成①							
	果 ②							

		区分	単位	H31年度	R2年度		R3年度		R4年度
			毕业	決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
		事業費合計 (A)	円	21, 000	10, 748	3, 325, 000	1, 059, 581	9758. 4%	71, 115, 000
1		①国庫支出金	円						
4 =	事業		円						
ス	費		円						
上	- `	訳 ④その他 (使用料、雑入等)	円						70, 900, 000
情報		⑤一般財源	円	21, 000	10, 748	3, 325, 000	1, 059, 581	9758. 4%	215, 000
ŦX	人	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	2	-33. 3%	2
		②年間所要時間	時間	800	800	800	1, 400	75.0%	1, 400
	費	③人件費 (②×@ 4,280 円) (B)	円	3, 424, 000	3, 424, 000	3, 424, 000	5, 992, 000	75. 0%	5, 992, 000
	総	費 用 (A+B)	円	3, 445, 000	3, 434, 748	6, 749, 000	7, 051, 581	105. 3%	77, 107, 000

令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

・室内温水プール整備基本計画の策定 ワークショップの開催(3回) 利用者アンケートの実施 庁内会議の開催 議会への説明

5 取組内容

・設計業者選定プロポーザルの準備 実施要項の作成

	評価	面の視点	R2評価	R3評価	評価結果の説明		個別評価	の項目		個別評価の判定
						1		与の妥当性	1	妥当である
	妥	当 性		A	特に問題なし		目的の妥		1	妥当である
							対象の妥		1	妥当である
	<i>-</i>	ابا اباد		Α.	4+ /- BB BZ 4- 1	_	目標達成		<u> </u>	高い
	有	効 性		A	特に問題なし		類似事業		1	0. 0
6						_		への貢献度	1	高い
評						\sim	コスト効	•	1	高い
	効	率 性		A	特に問題なし		実施主体		1	適正である
価						3	負担割合	の適正化	1	適正である
11111	(結果 (課長総括)		A	現行どおり管理運営を行うことが適当		不要			
	1 次	→ ○ 現	犬を維持	方		2				
		多 事	業の拡充	針		次評				
	事業の縮小			の 整備方金	hが決定したので、設計、建築工事を進めていく。	価				
	" J	5 統1	合等の検討	明						
	组	終了	'又は廃止・休止							

	事	務事業	名	市民スポーツ推進事業	担	課 等 名	生涯学習・スポーツ課
	予	算事業	名	市民スポーツ推進事業	当部	係 名	スポーツ係
	事	務区	分	自治事務	電 話 番 号	0765-23-1046	
1	事	業期	間	開始年度 不明 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
基本	総	目標	名	目標2. 未来につなぐまち	算	款	教育費
本項	合	政 策	名	政策09. いつまでも健やかなまちづくり	科	項	保健体育費
Ħ	計	施策	名	施策21. いきいきとしたライフスタイルの実現	目	目	保健体育総務費
	画	基本事業	名	基本事業21-1. 生涯スポーツ・レクリエーションの推進	総合	計画主な事業	記載あり(評価対象)
	根	拠 法	令		総合	戦略との関連	関連なし
	アウ	トソーシング導入	状況	アウトソーシング導入済(業務委託)	集中	プランとの関連	関連なし

市民の生涯スポーツの普及・推進を図るための取り組みを行う。 ①スポーツ推進審議会の開催②スポーツ推進委員を配置し、スポーツの実技指導や助言を行う。(UO!SPO事業等、スポーツレクリエーション事業の実施)③学校スポーツ施設の開放事業(施設管理を含む。)④登山道の整備、イベントの開催 事業概要 対 象 市民、施設等 ・生涯スポーツサポート事業開催数・学校スポーツ施設の開放施設数 段 (活動指標) ・週1回以上スポーツをする人の割合 ・学校スポーツ施設開放事業利用者数 (成果指標)

	活動指標名·成果指標名	単位	H31年度	R2年度		R3年度		R4年度
3	7,331,44,00	中心	実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活 ① 生涯スポーツサポート事業 (UO!SPO)開催数	口	4	1	3	2	66. 7%	3
	動 ② 学校スポーツ施設の開放施設数	施設	18	18	19	19	100.0%	19
標	成 ① 週1回以上スポーツをする人の割合	%	49. 6	48. 1	50. 0	調査未実施		50. 0
	果② 学校スポーツ施設開放事業利用者数	人	36, 425	26, 428	38, 000	48, 214	126. 9%	48, 000

		区分	単位	H31年度	R2年度		R3年度		R4年度
		<u> </u>	中亚	決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
		事業費合計 (A)	円	12, 503, 651	13, 584, 972	12, 874, 000	10, 668, 358	-21.5%	10, 956, 000
4		①国庫支出金	円			282, 000			
4 コ	事業	財②県支出金	円	282, 000			282, 000		282, 000
ス	業費	源。③地方債	円						
 	- `	訳 ④その他 (使用料、雑入等)	円	216, 438	402, 242	2, 558, 000	2, 033, 131	405. 4%	2, 541, 000
情 報		⑤一般財源	円	12, 005, 213	13, 182, 730	10, 034, 000	8, 353, 227	-36.6%	8, 133, 000
+1X	人	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
			時間	2, 220	2, 220	2, 220	1, 500	-32. 4%	1, 500
		(3) (3) (B) (3) (B) (B) (B)	円	9, 501, 600	9, 501, 600	9, 501, 600	6, 420, 000	-32. 4%	6, 420, 000
	総	費 用 (A+B)	円	22, 005, 251	23, 086, 572	22, 375, 600	17, 088, 358	-26.0%	17, 376, 000

令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

・スポーツ推進審議会の開催(年2回)

・スポーツ推進委員協議会の運営補助・学校開放施設の管理・運営

5 取組内容

有料化に伴う使用料徴収、施設環境改善(ウレタン塗装工事)

登山道の整備委託、片貝山荘の運営

評価の視点	R2評価	R3評価	評価結果の説明		個別評価の項目	個別評価の判定
妥 当 性	A	A	特に問題なし	2	目的の妥当性	1 妥当である
				_		1 妥当である 1 高い
有 効 性	\mathbf{A}	A	特に問題なし)	7 : 04	1 なし
				3	上位施策への貢献度	1 高い
₩ ₩ D				1	コスト効率	2 普通
効 率 性	В	В	根本的変更でなく進め方の改善が必要	2	実施主体の適正化	2 改善の余地あり
				3	負担割合の適正化	1 適正である
結果 (課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当		不要	
1 合 〇 現	犬を維持	方事業内容	ナー生涯スポーツの振興に大変客与しており 規詮	2		
灰 後 事第		対 事業であ		次 評		
価 の 事美	業の縮小	設と思われ				
	合等の検討	明設の管理				
終了	又は廃止・休止	等してで効	米的な連用が期付される。			
	妥 有 対 当 性 力 本 上 大評価 1次評価 大評価	妥 当 性 A 有 効 性 A 効 率 性 B 結果 (課長総括) A 1 次評価 (の) 事業の拡充 事業の縮小 方付 新会等の検討	妥 当 性 A 有 効 性 A A A 効 率 性 B B B 結果 (課長総括) A A A 1 次評価 事業の拡充 事業の縮小 分後の方 事業の縮小 分後の方 事業の縮小 設設の管理	妥当性 A 特に問題なし 有効性 A 特に問題なし 効率性 B 根本的変更でなく進め方の改善が必要 結果 (課長総括) A 計画どおり事業を実施することが適当 事業の拡充 (多様) 事業の拡充 (多様) 事業の協力 (多様) が評価 (方) 事業の縮小 (方) 統合等の検討 (おおりませ) おおり事業を実施することが適当 事業によっており、根幹事業であることから今後も継続して実施していくことが必要と思われる。旧小学校体育施設の運営・管理については、施設の管理を作を整えた上で、指定管理施設として進めていくままり、ままり、ままり、ままり、ままり、ままり、ままり、ままり、ままり、ままり	妥 当 性 A 特に問題なし ① 有 効 性 A 特に問題なし ② 効 率 性 B 根本的変更でなく進め方の改善が必要 ② ③ ① 現状を維持 事業内容は、生涯スポーツの振興に大変寄与しており、根幹事業であることから今後も継続して実施していくことが必要と思われる。旧小学校体育施設の運営・管理については、施設の管理条件を整えた上で、指定管理施設として進めていくのよび批解的な選出を整えたとで、指定管理施設として進めていくのよび批解的な選出を整えたとで、指定管理施設として進めていくのような、	妥 当 性 A 特に問題なし ① 自治体関与の妥当性 ② 対象の妥当性 ③ 対象の妥当性 ③ 対象の妥当性 ① 目標達成度 ② 類似事業の有無 ③ 上位施策への貢献度 ③ 上位施策への貢献度 ② 実施主体の適正化 ③ 負担割合の適正化 ③ 負担割合の適正化 本書の拡充 事業の拡充 事業の縮小 力 事業内容は、生涯スポーツの振興に大変寄与しており、根幹 事業であることから今後も継続して実施していくことが必要 説と思われる。旧小学校体育施設の運営・管理については、施 設の管理保保体を選用が提供された。 の 読み合等の検討 本の検討

<u> </u>				
事務事業名	室内温水プール建替推進事業	担	課 等 名	生涯学習・スポーツ課
予算事業名!	室内温水プール建替推進事業	部	係 名	スポーツ係
事 務 区 分	自治事務	署	電 話 番 号	0765-23-1046
1 事業期間	開始年度 平成29年度 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
基本 目標名 政策名	目標2.未来につなぐまち	算	款	教育費
百合 政 策 名	政策09. いつまでも健やかなまちづくり	科	項	保健体育費
計 施 策 名 □	施策21. いきいきとしたライフスタイルの実現	目		体育施設費
基本事業名	基本事業21-1. 生涯スポーツ・レクリエーションの推進	総合	計画主な事業	記載なし
根拠法令		L	戦略との関連	l
アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(業務委託)	集中に	プランとの関連	関連あり

事業概要 無津市の室内温水プールは、昭和54年3月の開設以来、約40年間気軽に親しめる施設として幅広く市民に利用されています。近年は、老朽化が進み、ボイラー等設備の故障や雨漏り等が相次いで発生し、快適に利用できる状態を保つのが困難な状況であり、その改修には多額の財政負担を伴います。平成26年7月に策定された「魚津市公共施設再編方針」では、温水プールは建替えることとしており、その設置場所と施設内容について検討を実施。R01年度は内閣府の交付金を活用し、PFI導入可能性調査を実施し、R02年度は整備手法等の検討、及び整備方針や整備スケジュールを決定する。

対象 市民、管理施設(総合体育館室内温水プール)

「大くさんの市民や事業者の意見を取り入れながら、費用的に効率的・効果的な新しい室内温水プールを造る。

意図 (成果指標) 新しい室内温水プールが完成し、多くの市民が利用している。

	活動指標名・成果指標名		指標名・成果指標名 単位 H31年度 R2年度 R3年度 R3年度			R4年度		
3		中心	実績	実績	計画	実績	達成率	計画
指	活①							
	動 ②							
	成①							
	果 ②							

		区分	単位	H31年度	R2年度		R3年度		R4年度
			毕业	決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
		事業費合計 (A)	円	21, 000	10, 748	3, 325, 000	1, 059, 581	9758. 4%	71, 115, 000
1		①国庫支出金	円						
4 =	事業		円						
ス	費		円						
上	- `	訳 ④その他 (使用料、雑入等)	円						70, 900, 000
情報		⑤一般財源	円	21, 000	10, 748	3, 325, 000	1, 059, 581	9758. 4%	215, 000
ŦX	人	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	2	-33. 3%	2
		②年間所要時間	時間	800	800	800	1, 400	75.0%	1, 400
	費	③人件費 (②×@ 4,280 円) (B)	円	3, 424, 000	3, 424, 000	3, 424, 000	5, 992, 000	75. 0%	5, 992, 000
	総	費 用 (A+B)	円	3, 445, 000	3, 434, 748	6, 749, 000	7, 051, 581	105. 3%	77, 107, 000

令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

・室内温水プール整備基本計画の策定 ワークショップの開催(3回) 利用者アンケートの実施 庁内会議の開催 議会への説明

5 取組内容

・設計業者選定プロポーザルの準備 実施要項の作成

	評価	面の視点	R2評価	R3評価	評価結果の説明		個別評価	の項目		個別評価の判定
						1		与の妥当性	1	妥当である
	妥	当 性		A	特に問題なし		目的の妥		1	妥当である
							対象の妥		1	妥当である
	<i>-</i>	ابا اباد		Α.	4+ /- BB BZ 4- 1	_	目標達成		<u> </u>	高い
	有	効 性		A	特に問題なし		類似事業		1	0. 0
6						_		への貢献度	1	高い
評						\sim	コスト効	•	1	高い
	効	率 性		A	特に問題なし		実施主体		1	適正である
価						3	負担割合	の適正化	1	適正である
11111	(結果 (課長総括)		A	現行どおり管理運営を行うことが適当		不要			
	1 次	→ ○ 現	犬を維持	方		2				
		多 事	業の拡充	針		次評				
	事業の縮小			の 整備方金	hが決定したので、設計、建築工事を進めていく。	価				
	" J	5 統1	合等の検討	明						
	组	終了	'又は廃止・休止							

	事	務事業	名	市民スポーツ推進事業	担	課 等 名	生涯学習・スポーツ課	
	予	算事業	名	市民スポーツ推進事業	当部	係 名	スポーツ係	
	事	務区	分	自治事務	署	電 話 番 号	0765-23-1046	
1	事	業期	間	開始年度 不明 終了年度 当面継続	子会		一般会計	
基本	総	目標	名	目標2. 未来につなぐまち	- 算 科 - 目	款	教育費	
本項	合	政 策	名	政策09. いつまでも健やかなまちづくり		項	保健体育費	
Ħ	計	施策	名	施策21. いきいきとしたライフスタイルの実現		目	保健体育総務費	
	画	基本事業	名	基本事業21-1. 生涯スポーツ・レクリエーションの推進	総合	計画主な事業	記載あり(評価対象)	
	根	拠 法	令		総合	戦略との関連	関連なし	
	アウ	アウトソーシング導入状況 アウトソーシング導入済(業務委託)			集中	プランとの関連	関連なし	

市民の生涯スポーツの普及・推進を図るための取り組みを行う。 ①スポーツ推進審議会の開催②スポーツ推進委員を配置し、スポーツの実技指導や助言を行う。(UO!SPO事業等、スポーツレクリエーション事業の実施)③学校スポーツ施設の開放事業(施設管理を含む。)④登山道の整備、イベントの開催 事業概要 対 象 市民、施設等 ・生涯スポーツサポート事業開催数・学校スポーツ施設の開放施設数 段 (活動指標) ・週1回以上スポーツをする人の割合 ・学校スポーツ施設開放事業利用者数 (成果指標)

	活動指標名・成果指標名		H31年度	R2年度		R4年度		
3			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活 ① 生涯スポーツサポート事業 (UO!SPO)開催数	口	4	1	3	2	66. 7%	3
	動 ② 学校スポーツ施設の開放施設数	施設	18	18	19	19	100.0%	19
標	成 ① 週1回以上スポーツをする人の割合	%	49. 6	48. 1	50. 0	調査未実施		50. 0
	果② 学校スポーツ施設開放事業利用者数	人	36, 425	26, 428	38, 000	48, 214	126. 9%	48, 000

	区分		単位	H31年度	R2年度		R4年度		
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
		事業費合計 (A)	円	12, 503, 651	13, 584, 972	12, 874, 000	10, 668, 358	-21.5%	10, 956, 000
4	事業費	①国庫支出金	円			282, 000			
4 コ		財②県支出金	円	282, 000			282, 000		282, 000
ス		源。③地方債	円						
 		訳 ④その他 (使用料、雑入等)	円	216, 438	402, 242	2, 558, 000	2, 033, 131	405. 4%	2, 541, 000
情 報		⑤一般財源	円	12, 005, 213	13, 182, 730	10, 034, 000	8, 353, 227	-36.6%	8, 133, 000
+1X	件	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
			時間	2, 220	2, 220	2, 220	1, 500	-32. 4%	1, 500
	費	(3) (3) (B) (3) (B) (B) (B)	円	9, 501, 600	9, 501, 600	9, 501, 600	6, 420, 000	-32. 4%	6, 420, 000
	総	費 用 (A+B)	円	22, 005, 251	23, 086, 572	22, 375, 600	17, 088, 358	-26.0%	17, 376, 000

令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

・スポーツ推進審議会の開催(年2回)

・スポーツ推進委員協議会の運営補助・学校開放施設の管理・運営

5 取組内容

有料化に伴う使用料徴収、施設環境改善(ウレタン塗装工事)

登山道の整備委託、片貝山荘の運営

妥当である 妥当である
妥当である 高い
なし
高い
普通
改善の余地あり
適正である
清音